



平成18年7月豪雨災害から10年シンポジウム

「当時を振り返り、 今何をすべきか考える」

平成18年7月に鳥根県東部を襲った記録的な豪雨。浸水被害が各地で発生し、地域に大きな人的・経済的被害をもたらしました。あれから10年…。全国各地で甚大な豪雨災害が頻発する昨今、あの水害を見つめ直し、「地域と命を守る備え」について考えるシンポジウムを開催します。過去の教訓を生かし、気候変動へのリスクも踏まえたこれからの防災対策、そして自らの“防災力”を高めるためのヒントを共に学びましょう。

開催 2016年7月18日(月・祝) **入場無料**

時間 14:00～16:00(開場:13:00～) **定員** 300名

場所 くにびきメッセ 国際会議場 松江市学園南1-2-1

主催 斐伊川水系大規模氾濫時の減災対策協議会
(松江市、出雲市、雲南市、鳥根県、国土交通省出雲河川事務所、国土交通省松江国道事務所、松江地方气象台)

PROGRAM プログラム

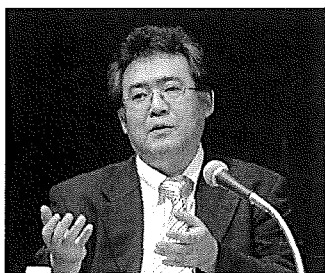
- 趣旨説明
国土交通省出雲河川事務所 所長 柴田 亮
- 基調講演
「ハード整備を補完する、地域防災の望ましいあり方」
松江工業高等専門学校 教授 浅田 純作
- パネルディスカッション
「当時を振り返り、これからの備えを考える」
パネリスト 松浦 正敬(松江市長) 長岡 秀人(出雲市長) 浅田 純作(松江工業高等専門学校 教授)
速水 雄一(雲南市長) 柴田 亮(国土交通省出雲河川事務所 所長)
コーディネーター 舟越 幹洋(山陰中央新報社地域メディア局 局長)

被害を最小限にするために
今、私たちができること

豪雨災害はいつか起こる

同時
開催

「防災パネル展」
(国際会議場内)



■ 基調講演

「ハード整備を補完する、地域防災の望ましいあり方」

浅田 純作 (あさだ・じゅんさく)

松江工業高等専門学校副校長、環境・建設工学科教授

群馬県出身。博士(工学)。平成21年から松江工業高等専門学校教授。26年から同校副校長。専門は都市計画や災害社会学など。各地の災害調査や防災まちづくり活動などに精力的に取り組む。島根県地震津波防災対策検討委員会委員、松江市防災会議委員。



■ パネルディスカッション

「当時を振り返り、これからの備えを考える」

パネリスト

松浦 正敬 (松江市長)

長岡 秀人 (出雲市長) 浅田 純作 (松江工業高等専門学校 教授)

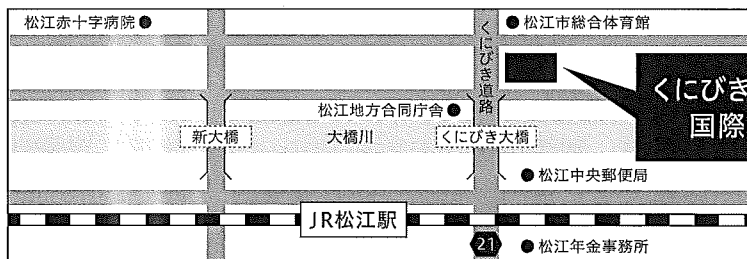
速水 雄一 (雲南市長) 柴田 亮 (国土交通省出雲河川事務所 所長)

コーディネーター 舟越 幹洋 (山陰中央新報社地域メディア局 局長)

会場のご案内

くにびきメッセ 国際会議場
松江市学園南1-2-1

▶ JR松江駅から徒歩約7分



平成18年7月豪雨災害から10年シンポジウム(7月18日) 参加申し込み

参加申し込み方法

下記の①～⑥をご記入の上、お申込み下さい。

- ①氏名(フリガナ) ④住所
- ②年齢 ⑤連絡先電話番号
- ③郵便番号 ⑥参加人数

※複数人の場合は代表者のみで結構です。

! 定員になり次第申し込みを締め切らせていただきます。
当日申し込みは会場受付までお問い合わせください。

ハガキ

〒690-8668 松江市殿町383
山陰中央新報社地域振興部「災害10年シンポ」係宛

FAX

山陰中央新報社地域振興部 FAX0852-32-3535
※下記の参加申込書にご記入の上、お申込み下さい。

電子メール

①～⑥をご記入の上、bousai@sanin-chuo.co.jpまで

平成18年7月豪雨災害から10年シンポジウム 参加申込書

※このままFAXしてください

氏名	フリガナ -----	年齢	歳	参加人数	人
住所	〒 -				
連絡先電話番号	() -				

送信先⇒山陰中央新報社地域振興部 **FAX: 0852-32-3535**

※ご記入いただいた個人情報は、当シンポジウムに係る目的のみに使用し、他の目的には使用いたしません。

お問い合わせ先・事務局

- 山陰中央新報社地域振興部 TEL: 0852-32-3368 (平日9:00～17:00)
- 国土交通省出雲河川事務所計画課 ... TEL: 0853-20-1761 (平日9:00～17:00)